

機 関 紙

二 十 七 日

2023 年 新 春



社会福祉法人 塩谷福社会



# 新年のご挨拶



理事長 川原 静雄

新春のお喜びを申し上げます。

平素より塩谷福祉会に対しまして、多くの皆様から多大なるご支援ご協力を賜り心から深く感謝申し上げます。

令和2年から道内で確認された新型コロナウイルス感染症が拡大し、現在もなお猛威を振るっており、社会・経済など様々な分野に多大なる影響を与えています。

このことにより、当法人の各事業所においては、利用者の移動に制限を受けたため、新規利用者の確保が難しい状況が続いており、利用者数の減少や収支状況が悪化するなどの厳しい経営状況を迎えています。

また、皆さんが楽しみにしていたクリスマス会などのイベントは縮小して行いましたが、中止となるイベントもあり、利用者の皆様には残念なことが続いています。

今年は新たな3カ年事業計画の初年度にあたり、長橋事業所と稲穂事業所の再編成と職員体制の見直しやグループホームの市内中心部への集約化など、課題はありますが整理しながら、新たな事業を進めるほか、各事業所においては、感染対策を徹底しながら利用者の確保とサービスの向上に

努め、経営の健全化、安定化を図ってまいります。

小樽、余間の高速道路の隣接地に建設した東屋の周辺を継続して植樹などの緑化整備や塩谷本部周辺の整備も行っており、皆様の憩いの場となるよう環境整備を進めております。



手作りの看板です。

法人理念の「共に助け合い、心と力を寄せ合い、ひとりひとりの幸福の実現に努めます。」を常に念頭に置きながら職員一同運営に努力してまいります。

本年も皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。



めぐみ寮の前を整備しました。素敵な広場になりました。

# 2022 年を振り返り 近況報告

## せせらぎ・青葉

「塩谷は何もない所」そんな歌詞を聞いたことがあります。しかしながら、自然だけには恵まれております。弱みを強みに、何もないのではなく、自然がある。青葉では、引き続き敷地の整備にまい進しております。高速道路の整備により荒廃した裏山も、新たに生まれ変わりがつあります。今年はどうとう熊が出ましたが、めげてはおりません。



養蜂家との連携を始めました。



熊が出た！

2023 年は、皆様にこの自然とメンバーの努力が詰まった庭造りの成果をご覧くださいければと思います。

## 新しいスタッフを紹介いたします！（南直樹）

以前は札幌のA型事業所に勤めていました。旭川の横の滝上町生まれなので、田舎暮らしには慣れていますが、やはり塩谷名物のカメムシの大量発生（電車で自宅までついてきます）と、中庭に大きなアオダイショウが出て、それを女性スタッフさんが捕まえて見せてくれたのには驚きました。久しぶりにこんなに色々な動物を見まし

たが、このような水と空気のおいしい少し人里離れた自然の中で全員が持ち味を生かし、明るくのびのび活躍されているのが、こちらの一番の魅力だと思いました。

また小樽は病院や行政、他の事業所とかかわりが深く、まさに「顔の見える福祉」を実現している所です。地域密着の小樽で、法人のテーマである「ともに生きる」をこれからも皆さんと一緒に細く長く叶えていけたらと思います。



「いつもの仲間」 竜玄

## グループホーム幸ほか

いよいよ冬の到来ですね。備えあれば憂いなし！GH では、去年の大雪を踏まえて今年はタイヤローダーという重機をレンタルして、備えて参りま

す。これで今年の冬は安心して過ごすことができますね！



GH けやき



雪に立ち向かう坂東管理者

さて、コロナ生活が始まり、今年で3年目となりました。職員も利用者も“当たり前ではない生活”に上手に順応して、過ごすことができている！手指の消毒やマスク着用での外出にも慣れてきた様子で、職員・利用者共々、3年間で1人も感染者を出すことなく生活することができています。まだまだ出口は長そうですが、今後もZERO コロナを目指して感染予防対策をしっかりとこなしていきたいと思えます。

今年もあとわずかでお正月です。GHでは世話人の皆さんが協力して作る、大変心のこもった料理が毎年恒例、振舞われます。その名は「世話人御膳！」豪勢なおせち料理を食べて、新たに1年分の精をつけて健康第一で生活していきましょう。2023年もよろしくお願いします！

(板東武志)

#### 新しい職員を紹介いたします！（牧田幸恵）

グループホームに働かせていただいて、この12月で4カ月目になりました。



がんばってます

職員も利用者様も皆さん優しく明るく、とても和やかな雰囲気の中、楽しく働かせていただいています。

介護福祉士として、認知症GH、重度心身障児者病棟、急性期の混合病棟で働いていました。

介護士といえば高齢者を想像されると思いますが、前職の病院勤務では、子供から高齢者、回復期からターミナルケアまで様々な方と携わり、不安や苦しみなど本音を聞き、心に寄り添う大切さを目の当たりにし学び、それらはとても貴重な経験でした。

こちらのグループホームでは自立した方が多く、その中で自分には何が出来るか、どのような

支援が本当に必要か、悩むことも多いですが、利用者様一人ひとりの思いに寄り添い、より多くの笑顔を引き出せるように努めたいと思っています。皆さまのお役に立てるよう頑張っていますので、どうぞよろしくお願いします。

## つぐと・ひまわり

2022年は大きな変化のあった年でした。就職や札幌への転居などで参加人数が減りました。それに加えて9月に喫茶ひまわりが閉店。ひまわりのメンバーが担当していた昼食の賄い調理を自分たちで行うことになりました。調理に参加するメンバーが少なくなったタイミングに重なったため、最初は混乱もありました。そんな中でもメンバーひとりひとりが自分たちにできることを分担しながら作業に取り組んでくれました。一度はつぐとを離れたメンバーも、仲間の声掛けをきっかけに再度参加してくれることになりました。みんなに感謝です！（もう少し参加メンバーが増えてくれればいいな～と思いますが。。。）

2023年はどんな年になるでしょうか。飛躍の兎年。私たち職員も、メンバーみんなも成長できる年になりますように。（早川聡美）

### メンバーの皆さんから声を頂きました。 私にとって「つぐと」とは？



調理風景、1日約50食作っています。

Aさん

私にとって「つぐと」とは仕事場です。私の場合特に一般就労が学生時代の短期のアルバイト経験しかないで、そういう思いが強いです。私が働くうえで心掛けていることがあります。それは「つぐと」では職員、メンバーと絶対にケンカをしないということです。

前の職場ではケンカをして辞めてしまったので、少々腹が立つことがあっても我慢します。今頃になって「働く」ということが分かった気がします。20年前(落ちましたが)就職の面接で受かった人は、それぐらいの働く覚悟があったと、大分遅れて気づいています。

つぐともまんぷく亭位の給料がもらえればと思います。以前はつぐとで働くうえで、取り越し苦労ばかりしていましたが、物事は変わるもので、せいぜい未来のことは1年か2年先ぐらいのことしか考えないようにしています。これから先も平穩が続けばと思います。これからもよろしくお願いします！

Bさん

つぐとは楽しく働ける場所です。みんな仲良く働けるところになってほしいです。

Cさん

2021年の12月から「つぐと」に通い始めました。本当は小樽市立病院のデイケアに再び通いたかったと思ったこともありますが、自宅

でゴロゴロしているよりはマシです。少しですが給料も出ますので、これからも無遅刻、無欠席、無早退を貫きたいです。

なお、私は長橋に住んでおりますので、徒歩で「つぐと」に通えます。

Dさん

私は11月1日より「つぐと」で勤めさせていただいています。正直言って時給が高いことに魅力を感じました。私は椎間板ヘルニアですが、仕事に慣れたら、腰の痛みもあまりありません。また魅力はまだあります。弁当を社員価格で買えることです。私の目標は

もう少しこの先に伸ばしました。これからも人嫌いせず、仲良くしていきたいと思います。よろしくお願いします。



マイウェイは「就職したい！」という方々の練習の場です。2年間という期限のあるサービスのため、当然メンバーの顔触れも年々入れ替わる。就労経験のある人もいれば、働くことの意味をこれから学ぶ人もいます。利用前の状況は様々です。それぞれが仕事をするうえで必要な習慣や心構えを身に着け、社会に羽ばたいていきます。

昨年度から惣菜の販売・配達業務を中心としたプログラムを展開しています。仕事を通して、うまくいった事・うまくいかなかった事・褒められたこと・ミスをして注意された事など、一人一人がそれぞれ経験した一つ一つの事柄が社会に出るための働く力につながっています。



メンバーから今年の感想を頂きました。「仕事では難しいこともあったが、変わったこと・新しいことを経験して、自分が成長したなと感じた。」「仕事では、注意もたくさんあったが仕事で出来ていることが増えた。働くのは大変だと実感した。」

マイウェイは多くの方に支えられ、たくさんの働く経験の機会をいただいております。その経験を生かせるようにこれからもマイウェイは前進

していきたいと思います。(佐藤竜弥)

## ワークメイト

自慢のまんぷく弁当

ワークメイト(まんぷく亭)の活動は次の3つのことを大切にしています。

- ① お金を稼ぐ! ⇒ 生活が豊かになり、自分に自信が持てる。
- ② 仲間を大切にする! ⇒ 協力しあうことが出来るようになり、お互いの不安を理解することが出来る。
- ③ 病気に負けない! ⇒ 自分の不調が分かるようになり、それを伝えることが出来るようになる。

生きている限り色々な困難があります。でも、まずはやってみる。動いてみる。その先にきっと良いことがあります。私たちはそう思い、毎日頑張っています。(清都ひとみ)



働く仲間

### ワークメイト(デイ作業)

若い頃と同じとはいかなくても働ける。高齢者のデイサービスにはまだ早い。そんな人たちのために昨年度からスタートしたデイ作業。見知



デイ作業の風景

った人たちと活動を続けることで健康な日常生活を維持していき

ます。食堂で利用する消耗品などを作る軽作業。体力維持のための運動や散歩。週1回の入浴

支援もあります。今年はメンバーも一人増えました。それぞれのペースで毎日を過ごしています。

新しい職員を紹介いたします!

(金谷小百合・松井幸子)

### デイ作業

11月14日から勤務することになりました。こういう所での仕事は初めてなので何もかもが新鮮です。入浴介助のお手伝いもさせていただいています。一人一人に合ったことが出来ればと思います。まだまだですが、みなさんの仕事を見て少しでも力になれるよう、楽しく頑張っていきたいと思っています。よろしく願い致します。(金谷小百合)

### まんぷく亭

皆さんと力を合わせて笑顔で元気いっぱい頑張ります。よろしく願い致します。(松井幸子)

## 地域活動支援センター

### やすらぎ

2022年も活動支援センターは利用者のみなさんと一緒に元気にすごしておりました。買い物、フリーマーケット、ドライブなどなど、できる限りの楽しみ方を考え活動しております。中でも七夕で浴衣を着たり、ハロウィンで仮装をしたり、いつもと違う自分を出せるイベントは人気があります。みんな何か



七夕レク

の変化を求めているのかな。職員も一緒になって楽しむことがやすらぎの良さでもあります。やすらぎでは10月から1階にキッチンを造作し、お昼ご飯を作っています。狭いながらもちょっと



海水浴レク

した憩いのスペースになりました。メンバーと職員が試行錯誤してやすらぎをどう活かして

いかか考えています。そこでコーヒーを飲みながらおしゃべりすることも大切なコミュニケーションです。

やすらぎにはさまざまな難問を抱えた人たちも相談に来ます。「お金の使い方が難しい、いつも足りなくて困ってる」とか、「人との付き合い方が難しくて困ってる」などが多いです。そんな時、時間をかけて話を聞くことがやすらぎの仕事です。職員も心にゆとりを持たなくてはなりません。本人の立場に立つことが信頼関係をつくる大前提です。目の前の問題を解決するために何ができるか、これから先どうすれば良くなっていくかを一緒に考えます。それにしても「どうしてこうなるんだろう？」と不思議に思うことはよくあります。みんなが自分らしく生きることは大変なことなのか、決してそうではないはずです。少しの工夫と信頼できる仲間がいることで何とかなることも多いのです。(浦部祐夫)

## 相談支援事業所やすらぎ

私たちの業務である計画相談は、利用者さんのところへ訪問し、対面でお話をして、困ってい

ることはないか、これからどうしていきたいかを一緒に考えるのが大切になります。それが、コロナが流行してからは事業所へ訪問することが難しくなり、会って話をしたり、実際に働いている姿や生活している場所を直接見たりすることができる機会がとて減ってしまい、今も歯がゆい思いをしています。しかしそんな中でも、できるだけ利用者さんが一人で困ることがないように、できる限りの対策を行って短時間でも会う機会を作ったり、直接会うことは難しくても利用者さんや事業所の方ときちんと連絡を取り合って、利用者さ



制度について調べています

んの想いや困りごとを見逃すことがないように気を付けながら、日々の業務に取り組んでいます。

コロナ禍で行動制限はかけられましたが、こんなご時世だけれども一般就労したい。働きたい。と相談に来られる方や、退院して地域での暮らしに戻りたい。自立した生活をするためにGHを利用したい。と希望される方など、よりよい将来に向けて障害福祉サービスの利用を求める方は途切れずに来られていました。一方で、希望する会社に一般就労が決まった方や高齢になり介護福祉のサービスを受けることになった方など、より自分に合った生活を送るために障害福祉サービスの利用を終了する方もいました。そうやってよりよく生きるために制度を活用し、行動している方々を見ていると、たとえどんな状況であれ、皆さんの暮らしは変わらず続いていく

のだと実感します。『やすらぎ』の利用を終了される方を見送ることに寂しさを感じることもありますが、その方が新しい生活に繋がるための手助けができたのだと思うと嬉しさも湧いてきます。

これからも、地域で暮らす皆さんが少しでも希望する生活に近づけるお手伝いができるように頑張っていきたいと思っております。

(櫻林知佳)



計画を作成中

## 喫茶ひまわり 営業終了(事業者変更)のお知らせ



ひまわり最終日

平成12年から約20年間、利用者と地域のみなさんに親しまれてきた喫茶ひまわりは塩谷福祉会としての営業を昨年9月末で終了しました。これまでのご来店、ご利用を心から感謝申し上げます。ひまわりは利用者のみなさんが運営することを目指し、地域で自分らしく働けるお店、だれでも働けるお店として歩んできました。ひまわりをステップとしてさまざまな場所で活躍している利用者の方もたくさんいます。喫茶ひまわりは10月より「株式会社しき」さんが営業しています。どうぞよろしく申し上げます。

(浦部祐夫)

## 寄付・寄贈の御礼

令和4年1月から令和4年12月までの間に、皆様から賜りましたご寄附(金品・物品)の報告をさせていただきます。寄付金額に関しましては略させていただきます、また、掲載順不同となっております。万一、ご尊名漏れ、誤字などございましたらご一報の程お願い致します。

### 寄附物品にご協力頂いた方

吉田竜一様、大友義光様、佐藤千春様、工藤道浩様、北海道済生会フードバンク様、岡根富士雄様、有限会社山口燃料様、有限会社オートパーク23様、有限会社北翔産業様、ホマレ商会様、清水一斗様

### 法人寄附にご協賛頂いた方

藤田悦子様、佐藤正夫様、医療法人社団小野眼科医院小野弘美様、有限会社山口燃料代表山口修司様、有限会社塩野商店代表塩野英雄様、嶋田理志様、堀内正臣様、伊藤稔様、斎藤順子様、



馬主財団様より助成を受けたハイエース

### 令和4年 助成金の御礼

- 1月 北海道信用金庫ひまわり財団様  
「タッカー等養蜂関連機材の為」
- 2月 公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団様  
「送迎用車両ハイエースの購入の為」
- 12月 赤い羽根「歳末たすけあい義援金」年末行事助成

### ~ 編集後記 ~

新年あけましておめでとうございます。年の瀬の完成となり、新年早々の到着とはならず申し訳ございません。

今年は、スタッフ一同、色々伝えたく、文章が多い編集となりました。ご負担をおかけいたしますが、一読頂ければ幸いです。

(加藤慎治)



令和5年1月吉日発行  
社会福祉法人 塩谷福祉会